

令和5年度に実施した中小企業振興施策を活用した事例紹介

(地域企業デジタル人財育成モデル構築事業：
 (株) 福萬組 (十和田市)、bambooforest (弘前市))

業務の効率化を促進するデジタルツールの活用・ DX推進のための組織づくりの支援

○ (株) 福萬組 (十和田市)

【企業概要】

地元に密着した総合建設会社として、土木、舗装、造成工事などに関わる施工サービスを提供している。

【経緯と県事業による支援】

同社では、勤怠管理、給与計算のデジタル化や、各部署がそれぞれ導入を進めてきたデジタルツールの連携・統制が課題となっていた。

このため、本事業を活用し、専門家の伴走支援を受けながら、DX推進を統制する組織を立ち上げるとともに、勤怠管理システムを試験的に導入することで、デジタル化を推進していく体制を整備することができた。

○ bambooforest (バンブーフォレスト) (弘前市)

【企業概要】

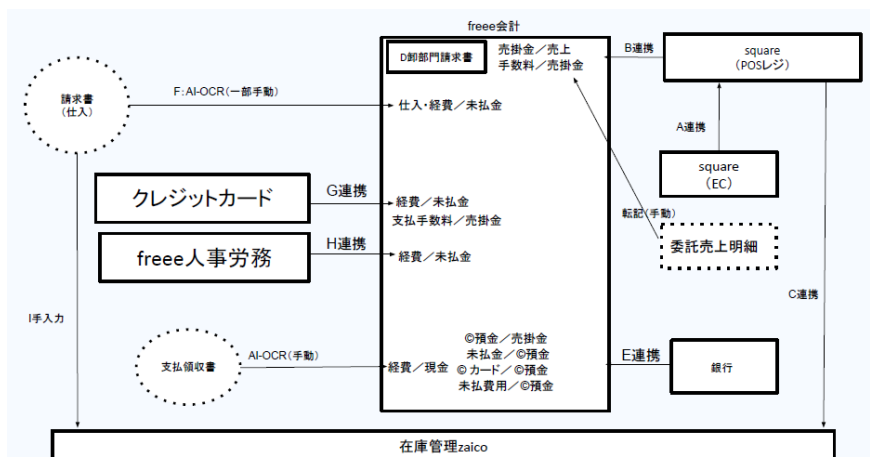
体に優しい食品、環境に配慮した日用品、生活雑貨、主に津軽地方で製作・生産されたハンドメイド作品や無農薬野菜等を販売している。

【経緯と県事業による支援】

同社で販売する商品は、賞味期限が短いものが多く、複数の店舗で販売している商品の在庫をそれぞれ手作業で管理していた。また、会計業務、オンラインショップや給与管理などのデジタルツールが連携しておらず、各ツールに手作業でデータを入力する必要があるなど、非効率な業務が課題となっていた。

このため、本事業を活用し、効率性をはじめ、導入費用やシステム運用に必要な学習時間について、専門家から指導を受けることによって、最適と考えられる運用モデルの方向性を定めることができた。

< 専門家の指導による効率化の方向性 (bambooforest) >



点線：手作業で転記

実線：データ連携による自動化